

2020年8月27日

No. 20-226

株式会社 伊予銀行

ビッグデータ活用の強化に向けて「共同MCIFセンター」へ参加しました！

～地方銀行9行とデータベースを共同化し、精度の高い予測モデルや新たなサービスを開発～

株式会社伊予銀行（頭取 三好 賢治）は、地方銀行9行^{※1}と株式会社NTTデータ（代表取締役社長 本間 洋）が共同で運営している「共同MCIF^{※2}センター」へ参加しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

このセンターは、各行の様々なデータを収集・加工してデータベースとして蓄積・分析する「共同MCIFシステム」と、各行の派遣行員とデータ分析専門家が協働して研究を行う「ナレッジ・ラボ」から構成されている共同利用型のデータ活用プラットフォームです。

今回の参加により、データ活用に関するノウハウの共有や行員派遣による人材育成に加え、当行単独では困難なビッグデータを高度に分析する体制を構築いたします。ビッグデータの活用を強化することで、精度の高い予測モデルやお客さまのニーズに合った新たなサービスの開発に取り組みます。

記

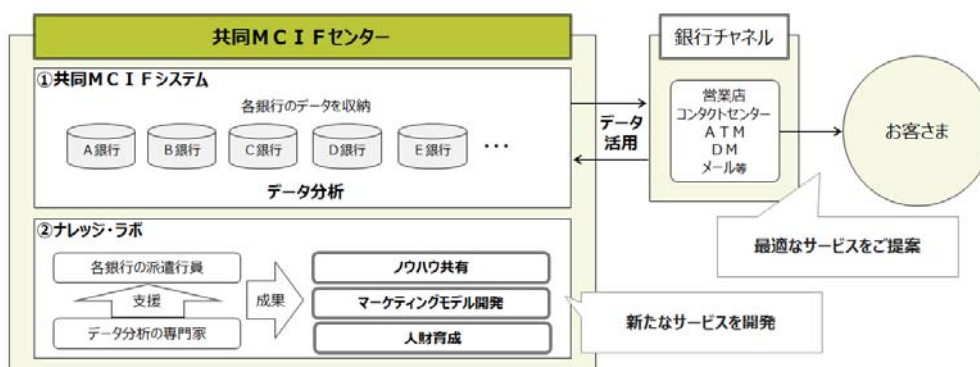
○参加日

2020年8月17日（月）

○参加効果

- ・参加各行やデータ分析専門家とのデータ活用に関する共同研究
- ・ビッグデータの高度分析による精度の高い予測モデルおよび新たな商品サービスの開発
- ・行員派遣による専門知識を持った行員の継続的な育成

○共同MCIFセンター概要



※1 北海道銀行、群馬銀行、武蔵野銀行、横浜銀行、北陸銀行、京都銀行、四国銀行、大分銀行、西日本シティ銀行（2020年8月1日現在）

※2 MCIF：Marketing Customer Information Fileの略で、マーケティング用の顧客データベースのこと。

以上